

大分県循環器病対策推進計画及び 大分県医療計画の進捗状況について

脳卒中

(1) 発症予防

- 「減塩」への取組として、減塩メニューである「うま塩メニュー」の普及、拡大に取り組んでいる。
うま塩メニュー提供店舗数は447店舗。(令和6年3月31日現在)
- 「運動」への取組として、おおいた歩得のグループ機能を活かし、職場ぐるみで取り組めるよう職場対抗戦を開催するなど、利用者数増加に取り組んでいる。(利用者数 98,312人 令和6年11月末現在)
- 10月を「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間とし、県民総参加の健康づくり運動を推進した。(令和5年9～11月 1,415回 131,095人)
- 特定健診の受診率向上と生活習慣病の重症化予防を目的に、動画等のWEB広告やラジオCMによる普及啓発を実施した。
- 特定健診の受診率向上のため、県医師会と特定健診の集合契約を行い、市町村国民健康保険の被保険者が居住する地域以外の医療機関で健診を受診できる体制を整備した。
- 特定保健指導担当者等を対象に、専門医による生活習慣病の基礎知識や食生活の指導ポイント等、保健指導に関する研修を行った。

(2) 応急手当・病院前救護、急性期医療

- 令和6年4月に傷病者の搬送及び受入れの実施基準における搬送先医療機関リストの見直しを実施しており、引き続き、大分県救急業務協議会をはじめとするメディカルコントロール体制の中で適宜見直しを進めている。
- 県内14消防本部の救急75台のうち53台に12誘導心電計を設置し、救急搬送における体制整備を行っている。
- モバイル機器を用いた医療コミュニケーションツール「Join」による、県内救急医療機関間の医用画像共有ネットワークを構築し、診療時間の削減や予後の改善、不必要な患者搬送の防止など救急医療体制の充実を図っている。

(3) 回復期、維持期・生活期のリハビリテーション、在宅療養指導

- 令和6年1月に県内医療機関を対象としてアンケートを実施し、本協議会で定めた選定基準(超急性期、急性期、回復期を担う医療機関)を満たす医療機関を一覧表にして、県ホームページで掲載している。
- 二次医療圏ごとに運用している「入退院時情報共有ルール」の定着を図っている。
- 地域医療介護総合確保基金を活用し、医療機関のリハビリテーション施設整備等に対して支援を行った。
- 歯科医師、歯科衛生士等を対象とした、口腔ケア、摂食・嚥下リハビリテーション等に関する研修事業を実施した。
(令和6年度：研修回数：1回(令和7年2月予定))
- 大分県医療・介護連携推進部会を開催し、市町村が行う在宅医療・介護連携事業等の取組を支援している。(部会開催：2回)

心血管疾患

(1) 発症予防

- 「減塩」への取組として、減塩メニューである「うま塩メニュー」の普及、拡大に取り組んでいる。
うま塩メニュー提供店舗数：447店舗。(令和6年3月31日現在)
- 「運動」への取組として、おおいた歩得のグループ機能を活かし、職場ぐるみで取り組めるよう職場対抗戦を開催するなど、利用者数増加に取り組んでいる。(利用者数 98,312人(令和6年11月末現在))
- 10月を「みんなで延ばそう健康寿命」推進月間とし、県民総参加の健康づくり運動を推進した。(令和5年9～11月 1,415回 131,095人)
- 特定健診の受診率向上と生活習慣病の重症化予防を目的に、動画等のWEB広告やラジオCMによる普及啓発を実施した。
- 特定健診の受診率向上のため、県医師会と特定健診の集合契約を行い、市町村国民健康保険の被保険者が居住する地域以外の医療機関で健診を受診できる体制を整備した。
- 特定保健指導担当者等を対象に、専門医による生活習慣病の基礎知識や食生活の指導ポイント等、保健指導に関する研修を行った。

(2) 応急手当・病院前救護

- 県の全職員を対象とした、AED講習を実施した。
(令和6年度：開催回数 7回 参加人数 136名)
- AED設置機関に対して、設置状況の確認及び適切な管理の徹底を依頼する。
(県内の公的施設での設置状況(令和5年度)：1,515施設 1,871台)

(3) 急性期、回復期、再発予防

- 令和6年1月に県内医療機関を対象としてアンケートを実施し、本協議会で定めた選定基準(超急性期、急性期、回復期を担う医療機関)を満たす医療機関を一覧表にして、県ホームページで掲載している。
- 保健所圏域ごとに運用している「入退院時情報共有ルール」の定着を図っている。
- 地域医療介護総合確保基金を活用し、医療機関のリハビリテーション施設整備等に対して支援を行っている。
- 大分県医療・介護連携推進部会を開催し、市町村が行う在宅医療・介護連携事業等の取組を支援している。(部会開催：2回)

第2期大分県循環器病対策推進計画 進捗状況(令和6年度12月時点)

資料 1

第3章 全体目標

○健康寿命

項目	計画策定時の 現状値	目標 〈令和22(2040)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
健康寿命(男性)	2016年: 71.54歳(36位) 2019年: 73.72歳(1位)	3年以上延伸 (2016年比)	2022年: 73.37歳(25位)	令和4年国民生活基礎調査
健康寿命(女性)	2016年: 75.38歳(12位) 2019年: 76.60歳(4位)		2022年75.94歳(10位)	

○循環器病年齢調整死亡率(人口10万人あたりの死亡者数)

項目	計画策定時の 現状値 〈令和2(2020)年〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
脳血管疾患	男性 100.7 (全国平均93.8)	低減	100.7 (全国平均93.8)	人口動態統計特殊報告 (令和2年都道府県別年齢調整死亡率)
	女性 59.4 (全国平均56.4)		59.4 (全国平均56.4)	
心疾患	男性 182.8 (全国平均190.1)		182.8 (全国平均190.1)	
	女性 103.9 (全国平均109.2)		103.9 (全国平均109.2)	

第4章 個別施策(分野毎の現状・課題と主要な施策の方向性)

1 循環器病予防・正しい知識の普及啓発

①生活習慣や社会環境の改善

項目	計画策定時の 現状値 〈令和4(2022)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
食塩摂取量	11.6g(14.4g)(男性)※ 9.5g(11.4g)(女性)※	7.5g(11.4g)未満(男性)※ 6.5g(8.4g)未満(女性)※	11.6g(14.4g)(男性) 9.5g(11.4g)(女性)	令和4年度県民健康づくり実態調査
野菜摂取量	233g(251.6g)(男性) ※ 237g(251.5g)(女性) ※	350g以上(男性) 350g以上(女性)	233g(251.6g)(男性) 237g(251.5g)(女性)	
定期的な運動を実施している者 (1回30分以上、週2回以上、 1年以上継続)	49.2%(男性) 38.6%(女性)	56%以上(男性) 50%以上(女性)	49.2%(男性) 38.6%(女性)	
喫煙率(20歳以上)	27.2%(男性) 6.2%(女性)	17.5%以下(男性) 3.5%以下(女性)	27.2%(男性) 6.2%(女性)	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒し ている者 (1日あたり純アルコール摂取量を40g以 上の男性、20g以上の女性)	25.4%(男性) 9.5%(女性)	13.0%以下(男性) 6.4%以下(女性)	25.4%(男性) 9.5%(女性)	
定期的に歯科検診を受けている者の割合	37.4%	70%以上	37.4%	

※()内は県民健康意識行動調査(BDHQ: Brief-type self-administered Diet History Questionnaire)の結果及び目標値

2 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

(1) 健診の普及・予防の取組推進

項目	計画策定時の 現状値 〈令和3(2021)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
特定健康診査の受診率	57.2%	70%	55.4% (令和4年度)	特定健康診査・特定保健指導の 実施状況に関するデータ(厚生労 働省)
特定保健指導の実施率	31.9%	45%	34.4% (令和4年度)	

(2) 救急搬送、救急医療体制の整備

① 迅速かつ適切に搬送可能な体制構築

項目	計画策定時の 現状値 〈令和4(2022)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
救急要請(覚知)から医療機関への収容 までに要した平均時間	40.3分	39.0分以下	40.3分 (令和4年度)	
一般市民が目撃した心原性心肺機能停 止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を 実施した件数(人口10万対)	12.0件	増加	12.9件 (令和4年度)	

(3) 急性期から慢性期までの切れ目のない医療提供体制の構築

① 病床機能分化・連携

項目	計画策定時の 現状値 〈令和4(2022)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
将来、不足することが推計されている病床 機能の確保	回復期病床の不足 (2,174床)	回復期病床の増加	回復期病床の不足 (1,844床)	令和5年度病床機能報告

第2期大分県循環器病対策推進計画 進捗状況(令和6年度12月時点)

資料1

②在宅医療の推進

項目	計画策定時の 現状値 〈令和4(2022)年度〉	目標 〈令和8(2026)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
退院時共同指導を受けた患者数	232人	251人	332人 (令和5年度)	
訪問診療を受けた患者数	14,624人	15,870人	15,181人 (令和5年度)	
往診を受けた患者数	10,641人	11,501人	10,307人 (令和5年度)	
在宅での死亡割合	25.3%	26.8%	25.9% (令和5年度)	

③循環器病に対する医療の質の向上、均てん化

項目	計画策定時の 現状値 〈令和4(2022)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
救急要請(覚知)から医療機関への収容 までに要した平均時間(再掲)	40.3分	39.0以下	40.3分 (令和4年度)	
心不全手帳導入件数	1,091件	増加	2,473件 (令和6年10月末時 点)	

④専門医、専門・認定看護師等の医療従事者の確保

項目	計画策定時の 現状値 〈令和5(2023)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
慢性疾患看護	1名	増加	1名 (令和5年度)	
急性・重症患者看護	6名		6名 (令和5年度)	
救急看護・集中ケア・クリティカル	20名		20名 (令和5年度)	
脳卒中リハビリテーション看護	11名		11名 (令和5年度)	
慢性心不全看護・心不全看護	5名		5名 (令和5年度)	
緩和ケア看護	30名		30名 (令和5年度)	
訪問看護・在宅ケア看護	12名		12名 (令和5年度)	
摂食・嚥下障害看護	12名		12名 (令和5年度)	
特定行為看護	57名		57名 (令和5年度)	

(5) 循環器病の後遺症を有する方に対する支援、治療と仕事の両立支援

① 患者の状況に応じた両立・就労支援、経済的支援体制、相談支援体制の整備

項目	計画策定時の 現状値 〈令和4(2022)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
難病患者の就職件数(※難病患者就職サポーターを通じた就職者実績を基に算出)	27件	36件	29件 (令和5年度)	

(7) 社会連携に基づく循環器病対策、循環器病患者支援

① 地域包括ケアシステムの構築推進

項目	計画策定時の 現状値 〈令和4(2022)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
要介護2以上の年齢調整後認定率全国順位	6位	1位	6位 (令和5年度)	

④ かかりつけ薬剤師・薬局による服薬情報の一元的・継続的把握と指導

項目	計画策定時の 現状値 〈令和5(2023)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
かかりつけ薬剤師指導料届出薬局数	56.3%	60%	58.7% (令和6年12月時点)	

(8)小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策

①小児から成人まで切れ目のない医療体制整備、療養生活に係る相談支援・児童の自立支援

項目	計画策定時の 現状値 〈令和5(2023)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
自身の病名や治療内容について把握している小児慢性特定疾病患者(7歳以上)の割合	85%	86%	74% (令和6年度)	

※「把握している」、「概ね把握している」と回答した割合を計上。

第8次大分県医療計画 進捗状況(令和6年度12月時点)

資料1

(脳卒中医療)

項目	計画策定時の 現状値 〈令和2(2020)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
脳血管疾患年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性 100.7 女性 59.4	減少	男性 100.7 女性 59.4 (令和2年度)	人口動態統計特殊報告 (令和2年都道府県別年齢調整死亡率)

項目	計画策定時の 現状値 〈令和3(2021)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
t-PAによる脳血栓溶解療法実施症例数	80例	—	132 (令和4年度)	厚生労働省 医療計画策定支援 データブック

(心筋梗塞等の心血管疾患医療)

項目	計画策定時の 現状値 〈令和2(2020)年度〉	目標 〈令和11(2029)年度〉	令和6年度12月時点実績	備考
急性心筋梗塞年齢調整死亡率 (人口10万人対)	男性 41.6 女性 20.6	減少	男性 41.6 女性 20.6	人口動態統計特殊報告 (令和2年都道府県別年齢調整死亡率)